

高効率石油小形給湯機 潜熱回収型

取扱説明書（保証書付）

製品名

CBX-EF474F

はじめに

ご使用前に

お湯・シャワー

お風呂

その他の機能

eco(エコ)

ユーザー設定

必要なとき

困ったとき

ご参考



この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(裏表紙)は必ず設置日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

絵表示の説明

- » **しくみ** リモコンや石油小形給湯機のしくみ
- ★ **ヒント** 使いかたのヒント
- ! **注意** ご注意ください
- ▶ **参照** 参照先 または 参照ページ

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

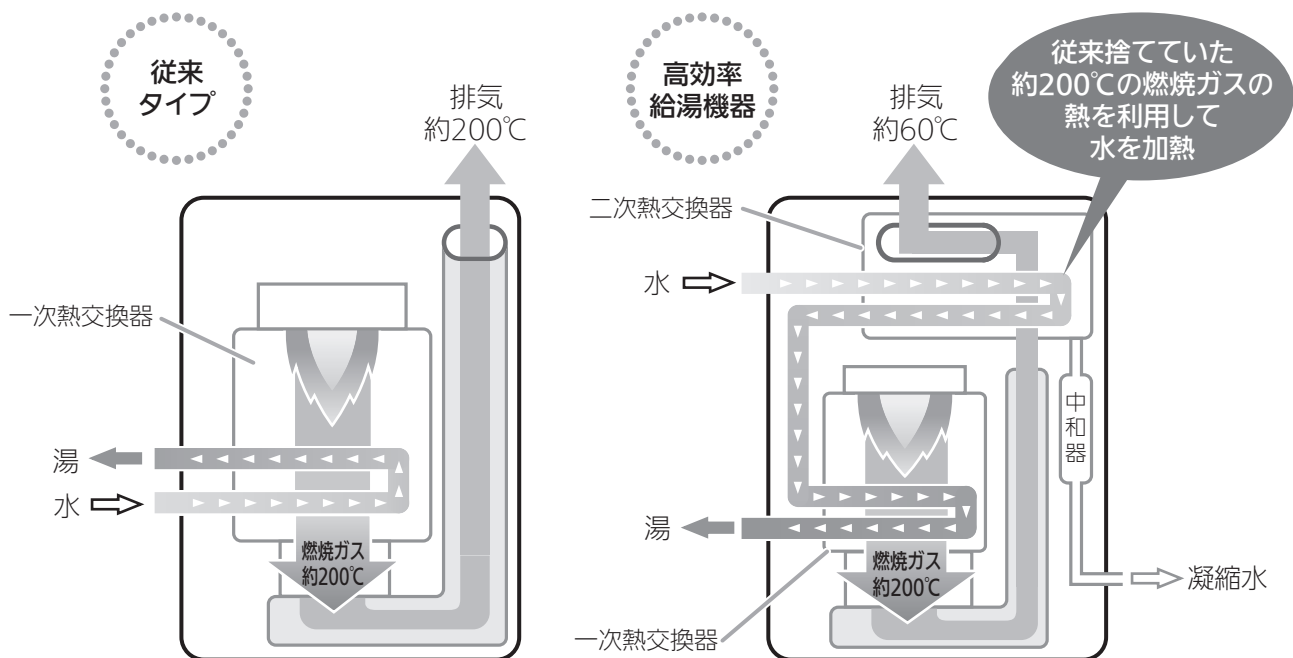
説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

高効率給湯機器のしくみ

一次熱交換器であたためたときに、燃焼ガスが出ます。

高効率給湯機器では、従来捨てていた燃焼ガスに含まれる熱を二次熱交換器で回収し、その熱を利用して水を加熱します。

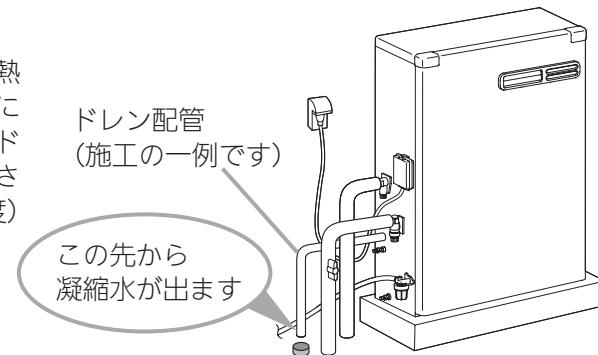


高効率給湯機器では凝縮水が出ます

二次熱交換器で燃焼ガスの熱を回収したとき、燃焼ガスに含まれる水分が結露して、ドレン配管から凝縮水が排出されます。(最大60mL/分程度) 水漏れではありません。

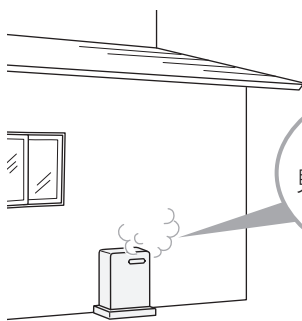
ドレン配管 (施工の一例です)

この先から凝縮水が出ます



高効率給湯機器では白い湯気が出やすくなります

二次熱交換器で熱を回収された燃焼ガスは、熱を奪われるため温度が低く、また多くの水分を含んでいます。このため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。



燃焼中は、白い湯気がよく見える場合がありますが異常ではありません

はじめに

この取扱説明書の見かた	2
高効率給湯機器のしくみ	3
もくじ	4
こんなことができます	5
特に注意していただきたいこと	6

ご使用前に

使用前の準備	11
各部のなまえとはたらき(機器本体)	13
各部のなまえとはたらき(リモコン)	14
スイッチ部	14
表示画面	16
時計をあわせる	18
時計を表示させる	19

お湯・シャワー

お湯を出す	20
お湯の温度を調節する	21

お風呂

お風呂にお湯はりをする<お湯はりメロディ>	22
お湯はり湯量を調節する	24

その他の機能

リモコンの音量を変更する	25
--------------	----

eco(エコ)

「ecoスイッチ」でかんたんエコライフ	26
「ecoスイッチ」で省エネ・節約する	27
「eco」の内容をお好みで変更する <お好みeco設定>	28

ユーザー設定

使い勝手にあわせて設定を変更する	29
------------------	----

必要なとき

凍結による破損を予防する	30
長期間使用しないとき(水抜きのみ)	32
日常の点検・お手入れのしかた	34
定期点検(有料)	36
部品交換のしかた	36
法定点検について	37

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	39
リモコンに数字が点滅しているとき<故障表示>	42

ご参考

アフターサービスについて	44
主な仕様	45
リモコン音声一覧	46
設定範囲と初期設定	46
据え付け	47

無料修理保証書

裏表紙

こんなことができます

運転スイッチを「入」にすると
給湯栓やシャワーからお湯が出ます



お湯はり湯量を設定しておくで、メロディが鳴って
設定量になったことをお知らせします



お湯・シャワー

お風呂

その他の機能

お湯の量や温度を抑えて
省エネ・節約できます





eco(エコ)

ユーザー設定

使い勝手にあわせて
いろいろな設定が変更できます

特に注意していただきたいこと

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

 警告 (WARNING)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意 (CAUTION)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い (NOTICE)	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

警告 (WARNING)

ガソリン厳禁

灯油 (JIS 1 号灯油) を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。



ガソリン厳禁

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない



分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

注意 (CAUTION)

異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。



必ず守る

1. 給湯栓を閉める
 2. 運転スイッチを「切」にする
 3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
 4. 販売店または、弊社に連絡する
- 火災・感電・故障などの予防のため。



お湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意する



高温注意

やけど予防のため。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



高温注意

60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけど予防のため。



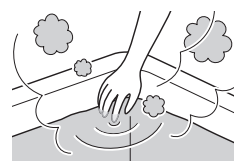
油漏れやにおい、ススの発生、炎の色、故障表示を繰り返すなど、異常や故障と思われるときは使用しない



禁止

思わぬ事故の原因になります。「故障・異常かな?」と思ったら「リモコンに数字が点滅しているとき<故障表示>」に従って処置してください。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



やけど予防のため。

ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより、火災のおそれがあります。



禁止

太陽熱温水器との接続時の注意

太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性がありますので、注意して使用してください。



高温注意

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口やその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。



接触禁止

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



禁止

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



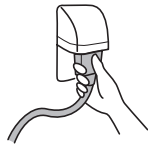
ぬれ手禁止



感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグのホコリは定期的に取り除く

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ず守る

排気口のすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。



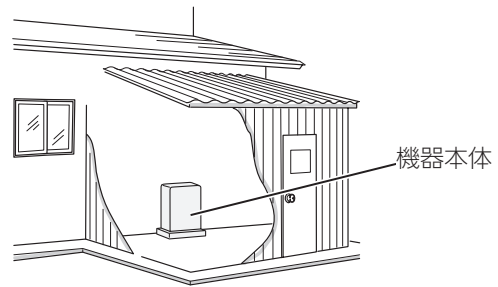
禁止

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをして)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



禁止



ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

火災の原因になります。



禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



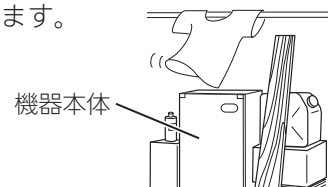
禁止

燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。



禁止



機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ず守る

特に注意していただきたいこと

特に注意していただきたいこと(つづき)

(つづき)

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には
使用しない

思わぬ事故を予防するため。



禁止

子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさが
っていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



必ず守る

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くと
ともに、凍結を予防するため、必要な処置をし
てください。(P32~33)

火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグ
を抜く

ドレン配管から排出される凝縮水を、飲料
用・飼育用などに使用しない



禁止

オイルタンクや送油管の接合部などから油
漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。



必ず守る

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは
60Hz用です

他の電源で使用すると、故障・火災の原因にな
ります。



必ず守る

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医
療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用
してください。

リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があります、聴覚障害などを引
き起こす原因になります。



禁止

乾電池に関する注意(取り替え機器についてお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依
頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使
用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理
をしてください。

お願い(NOTICE)

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)



電源プラグを抜く

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)



ぬれ手禁止

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



感電注意

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。

こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

台所リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない

変形や変色などの原因になります。

台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。

故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光を避けた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

凍結による破損を予防する(P30～33)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(P32～33)

凍結および万が一の油漏れを防止するため。

特に注意していただきたいこと

特に注意していただきたいこと(つづき)

(つづき)

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起す場合がありますので、絶対に使用しないでください。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社に確認してください)

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

使用前の準備

- 初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

⚠️注意	🚫 排気口のすぐ前に物を置かない 異常燃焼や火災の原因になります。
⚠️注意	🚫 燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など) 火災の原因になります。
⚠️注意	❗ オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる 油漏れにより、火災の原因になります。

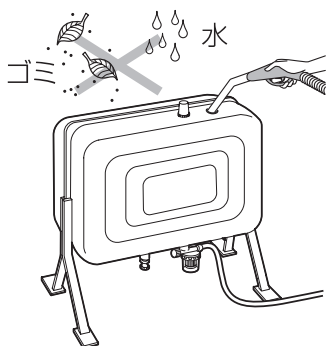
燃料

⚠️警告	🚫 ガソリン厳禁 灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。
⚠️注意	🚫 不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない 変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給油

● 給油の際の注意

- 必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふきとってください。



● 空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかったり、故障表示「11」「12」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 運転スイッチを「入」にする。
3. 給湯栓(お湯側)を開けて、お湯を出す。

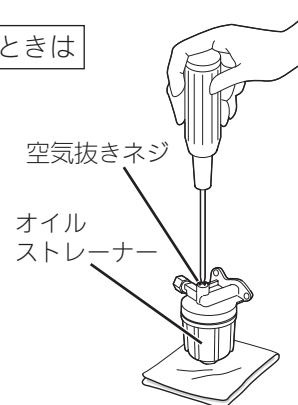
手順2～3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

→ 燃焼ランプが点灯し、お湯になれば正常です

→ 【故障表示「11」「12」が出る場合】
いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

5～6回繰り返しても、故障表示が出て着火しないときは

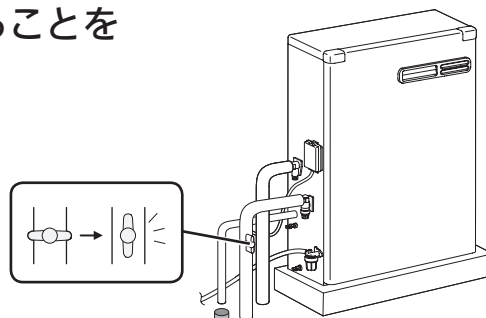
1. 灯油が出るため、オイルストレーナーの下に布などを敷いて受ける。
(オイルストレーナーの位置→P13)
2. オイルストレーナーの空気抜きネジをゆるめる。(このとき、灯油があふれ出てきたら空気抜きが完了です。こぼれた灯油は、よく拭きとってください)
3. 空気が抜けた後は、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付ける。



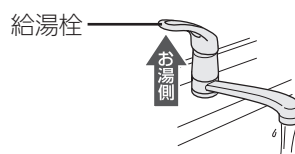
使用前の準備(つづき)

運転開始前の準備と確認

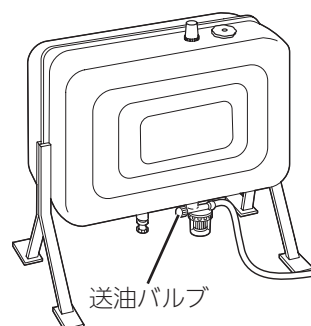
- 1** すべての水抜き栓が閉まっていることを確認し、給水元栓を全開にする
(水抜き栓の位置→P32)



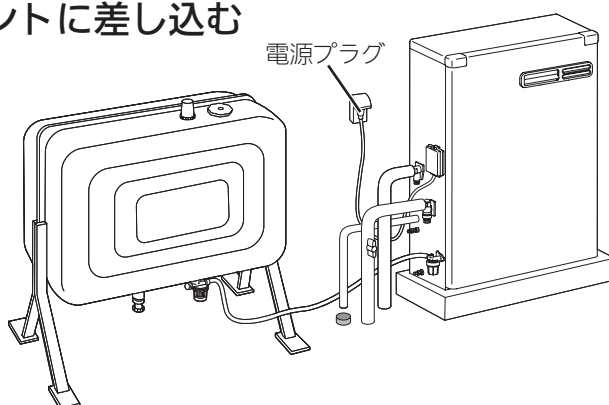
- 2** 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める



- 3** オイルタンクの送油バルブを全開にし、オイルタンクや送油管接合部などから油漏れがないか、確認する



- 4** 電源プラグを電源コンセントに差し込む
ぬれた手でさわらない

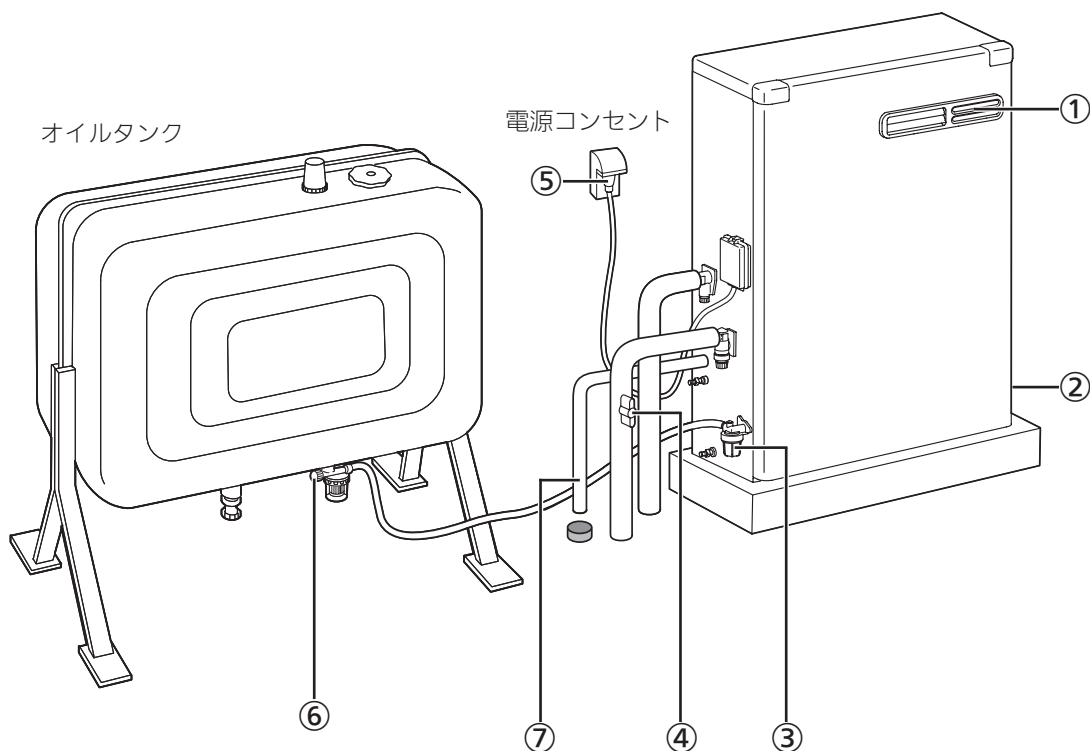


- 5** リモコンの運転スイッチを「入」にし、再度押して「切」にする

» **しくみ**
●対震自動消火装置が自動的にセットされます。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。



- ① 排気口
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。側面・背面にあります。
- ③ オイルストレーナー
- ④ 給水元栓
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ 送油バルブ
- ⑦ ドレン配管
機器の使用で発生する凝縮水を排水します。

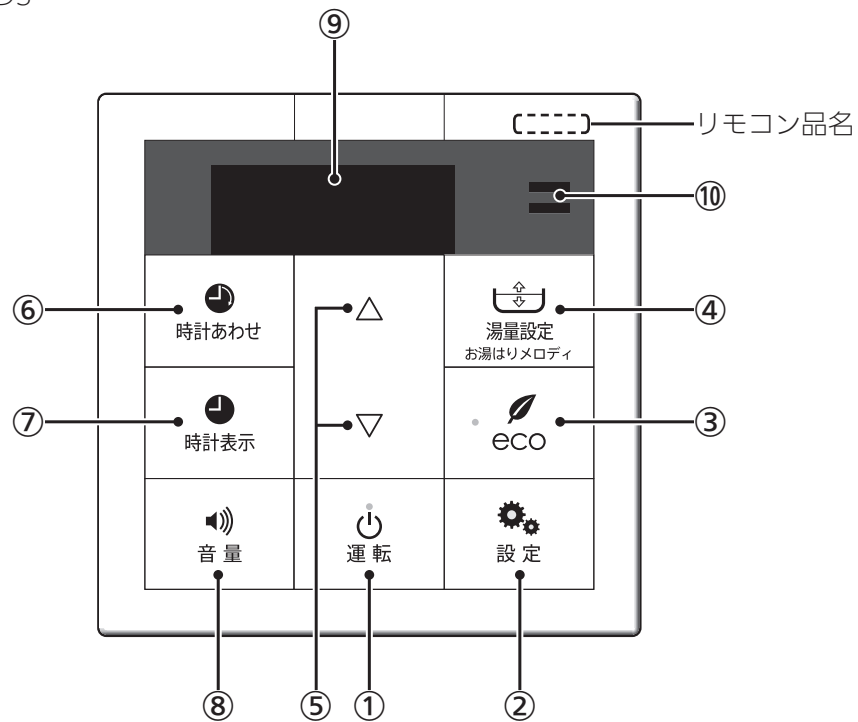
各部のなまえとはたらき(リモコン)

スイッチ部

- スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。
- スイッチを押すときは、各スイッチの中央部を押してください。

● 台所リモコン

- リモコン品名：M-041DS



① 運転スイッチ・ランプ

運転の「入」「切」に。

② 設定スイッチ

使い勝手にあわせて設定を変更するとき。(P29)

③ eco(エコ)スイッチ・ランプ

- ・このスイッチひとつで、エコな運転になります。(P27)
 - ・eco(エコ)スイッチ「入」中はランプ点灯。表示の節電中はランプ消灯しますが、eco(エコ)は「入」のままです。
 - ・「eco」の内容を変更するとき。(P28)
-

④ 湯量設定スイッチ

- ・お湯はり湯量を設定するとき。(P24)
 - ・設定した湯量分のお湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴ってお知らせします。
-

⑤ 選択スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P21)
 - ・時計をあわせるとき。(P18)
 - ・その他の設定を変更するとき。
-

⑥ 時計あわせスイッチ

時計をあわせるとき。(P18)

⑦ 時計表示スイッチ

時計を表示させるとき。(P19)

⑧ 音量スイッチ

リモコンの音量を変更したいとき。(P25)

⑨ 表示画面

リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。
お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分たつと、表示が消えます。(運転ランプは点灯)
※eco(エコ)スイッチ「入」中は、約1分で節電します。(P26)

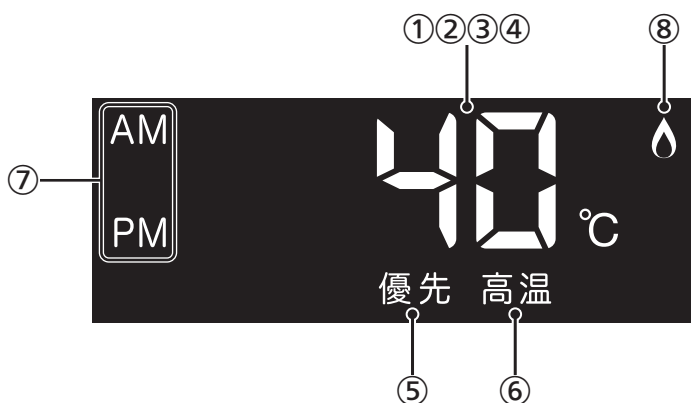
⑩ スピーカー

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

表示画面

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって、異なる表示をします。

● 台所リモコン



① 給湯温度表示

② 時計表示(P19)

時計表示スイッチを押すと表示。

③ 湯量表示

湯量設定スイッチを押すと表示。(P24)

④ 故障表示

不具合が生じたときに表示。(P42)

⑤ 優先表示

点灯していれば、給湯温度が調節できます。(P21)

⑥ 高温表示

給湯温度を60°C・75°Cに設定したときに点灯。(P21)

⑦ AM/PM表示

⑧ 炎マーク

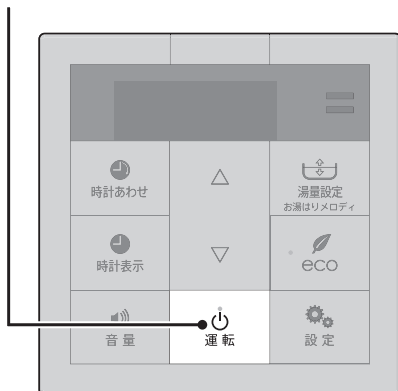
給湯・お湯はりなど、燃焼中に点灯。

* memo *

時計をあわせる

手順

1 運転スイッチを「切」にする



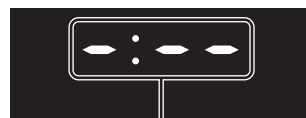
表示例



》しくみ

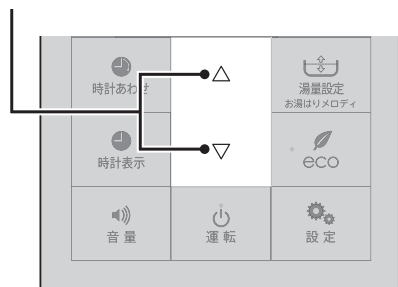
- 運転スイッチ「入」でも設定できます。

2 時計あわせスイッチを押す



点滅

3 選択スイッチで時計をあわせる

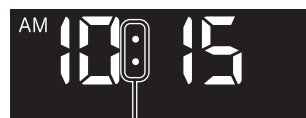


例：午前10時15分

》しくみ

- 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

4 時計あわせスイッチを押す



点滅

約10秒後 元の画面に戻ります

》しくみ

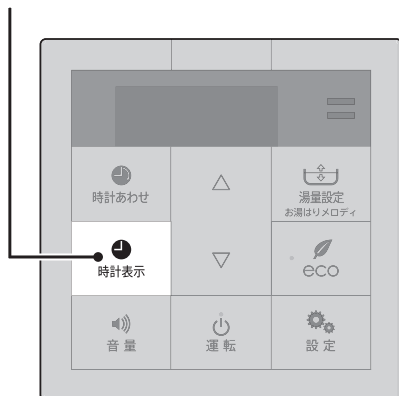
- 約20秒そのままにしても設定完了します。

【時計あわせ 完了】

時計を表示させる

手順

1 時計表示スイッチを押す



表示例：午前10時15分



■ 時計表示をやめたいとき

時計表示中に、時計表示スイッチを押す

》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、表示できます。
- 運転スイッチの「切」時、または給湯温度が60℃・75℃のときに押すと、約10秒間時計を表示したあと元の画面に戻ります。
- 時計あわせをしていないと、「-:--」を表示します。

》しくみ

- 以下の場合にも時計表示は消えます。
 - ・お湯を使う
 - ・他のスイッチ操作をする
 - ・運転スイッチを「入」または「切」にする
 - ・表示の節電状態になる

時計をあわせる／時計を表示させる

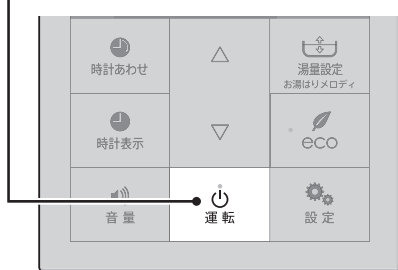
お知らせ

- 運転スイッチ「切」にしても時計を表示するよう、設定できます。(P29の番号2)
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になる場合がありますので、時計をあわせ直してください。(P18)

お湯を出す

手順

1 運転スイッチを「入」にし、給湯温度を確認する

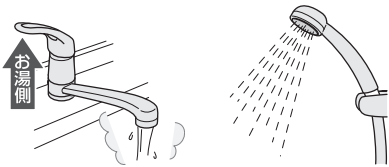


表示例



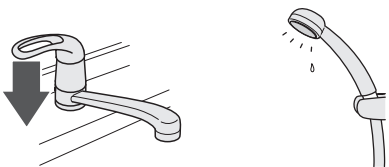
》しくみ
●運転ランプ、優先表示点灯。

2 給湯栓を開ける または シャワーを出す



■ お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める または シャワーを止める



■ 給湯量と給湯温度の早見表

給湯温度 水温	給湯量 L/分		
	8℃〈冬期〉	18℃〈春・秋期〉	28℃〈夏期〉
40℃	約21.0	約30.5	(約55.5)
48℃	約17.0	約22.5	(約34.0)
60℃	約13.0	約16.0	約21.0
75℃	約10.0	約11.5	約14.0

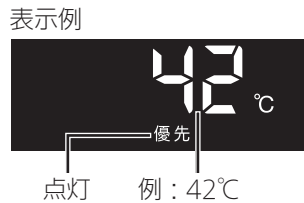
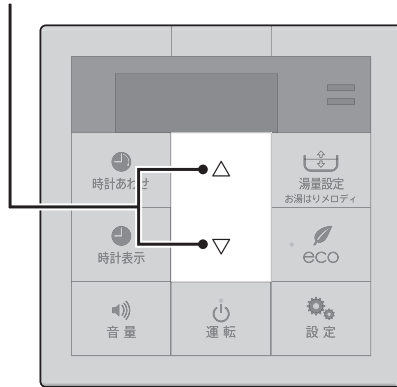
- ()内は湯、水を混合した値です。
- ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

⚠注意	シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する 60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。
⚠注意	シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない 高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度を調節する

手順

- 1**
- ①優先表示が点灯していることを確認して
 - ②選択スイッチで調節する



★ヒント

- サーモスタット付混合水栓の場合は、ハンドルの設定よりぬるいお湯が出る場合があります。このような場合は、リモコンの給湯温度を約10℃高めに設定してください。

お湯の温度の目安

													(°C)				
32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	55	60	75
ぬるめ 食器洗いなど				シャワー、 給湯など				給湯など					高温				

表示例

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なる場合があります。
- いったん運転スイッチを「切」にし、再度「入」にした場合、前回の設定温度が75°Cのときは、安全のため60°Cになります。
- 低い給湯温度(ぬるめ、食器洗いなど)に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

⚠注意



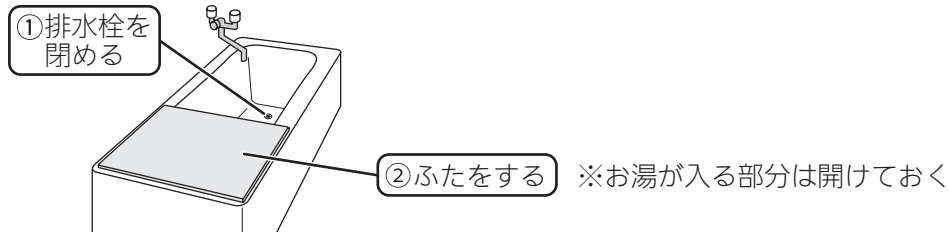
シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お風呂にお湯はりをする <お湯はりメロディ>

- 設定した湯量をお湯はりすると、メロディが鳴ってお知らせします。(お湯は自動的に止まりません)

準備



手順

1 ①運転スイッチを「入」にして



②給湯温度を確認する

表示例



》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

▶ 参照

- 給湯温度調節(P21)
- お湯はり湯量調節(P24)

2 給湯栓を開ける



★ ヒント

- サーマスタット式混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最高温度にしてお湯はりしてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

【お湯はり 開始】





設定した量が入ると
【メロディでお知らせ】



》 **しくみ**

●お湯はり湯量を「990」に設定している場合は、メロディでお知らせしません。

★ **ヒント**

●設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お知らせが鳴らないとき
(P40「故障・異常かな?」と思ったら)

3 給湯栓を閉める



お湯はり温度(給湯温度)の目安

°C											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

- 50°C以上の設定もできますが、やけどのおそれがありますので、設定しないでください。
- 設定するお湯はり温度(給湯温度)は目安です。実際の温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なる場合があります。

お風呂にお湯はりをするへお湯はりメロディ

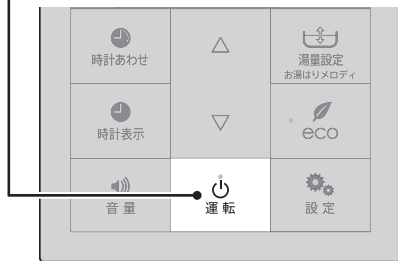
⚠️注意	❗ お風呂にお湯はりをするときは、リモコンに表示の温度をよく確かめる
⚠️注意	🚫 お湯はり中は、給湯温度を変更しない、運転スイッチを「切」にしない

お湯はり湯量を調節する

- 設定した湯量分のお湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴ってお知らせします。(990Lに設定すると、お湯はりメロディは鳴りません)

手順

1 運転スイッチを「入」にする



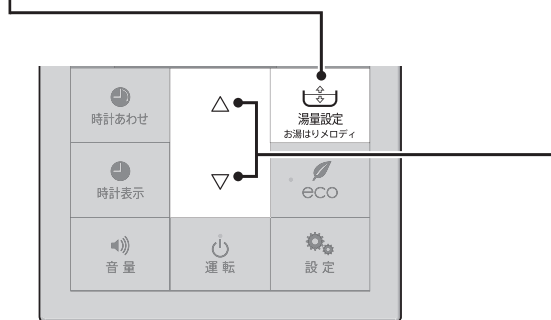
表示例



》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 ①湯量設定スイッチを押して ②湯量表示が点滅している間に選択スイッチで調節する



お湯はり湯量 点滅

設定範囲(L)

40~260(20きざみ)、300、350、400、990(お湯はりメロディのお知らせなし)

》しくみ

- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。
- 変更した湯量は記憶します。

■ お湯はり湯量を確認したいとき

運転スイッチ「入」のときに、湯量設定スイッチを押す

》しくみ

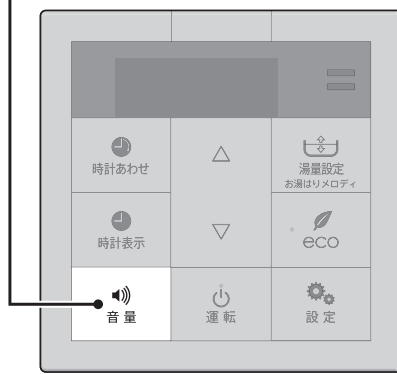
- 現在のお湯はり湯量を表示します。
- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。

リモコンの音量を変更する

- リモコンの以下の音量が変わります。
 - ・ スイッチを押したときに鳴る音(操作音)
 - ・ 声によるお知らせ(音声ガイド)
 - ・ お湯はりメロディ

手順

1 音量スイッチを押す



表示例



音量 点滅

》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。

2 音量スイッチで音量を変更する



設定範囲

0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)

》しくみ

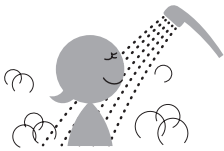
- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。

【音量変更 完了】

- 「声によるお知らせ(音声ガイド)」のみ消したいとき → P29の番号1

「ecoスイッチ」ひとつでできるエコって？

● エコな給湯

ひかえめ給湯量 節油 節水

シャワーや給湯栓から出るお湯の量を、少し抑えます。どれくらいに抑えるかは、ecoスイッチ「入」後、約5秒間ひかえめ給湯量を表示している間に、給湯温度スイッチで調節できます。

設定範囲(L/分)：8、10、12、—(抑えません)

ひかえめ給湯温度 節油

リモコンの給湯温度表示はそのまま、シャワーや給湯栓のお湯を約1℃低い温度で出します。不便に感じることなく節約ができます。

● エコなリモコン

もっと表示節電 節電

ふだんは使用後約10分で「表示の節電」になるところ、約1分で節電に入ります。

手順

1 ① 運転スイッチを「入」にし



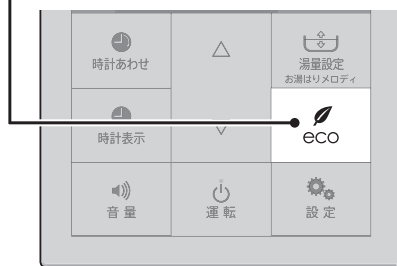
② 給湯温度がやけどしない温度であることを確認する



» しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 ecoスイッチを「入」にする



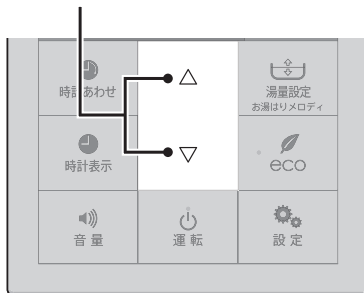
ひかえめ給湯量
約5秒間点滅

» しくみ

- ecoランプ点灯。

【eco(エコ)の設定 完了】

ひかえめ給湯量を表示している間(約5秒間)は
選択スイッチで、ひかえめ給湯量を変更できます



設定範囲(L/分)
8、10、12、— (抑えません)

» しくみ

- 変更したひかえめ給湯量は記憶します。
- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。

■ eco(エコ)の設定をやめたいとき

ecoスイッチを「切」にする

» しくみ

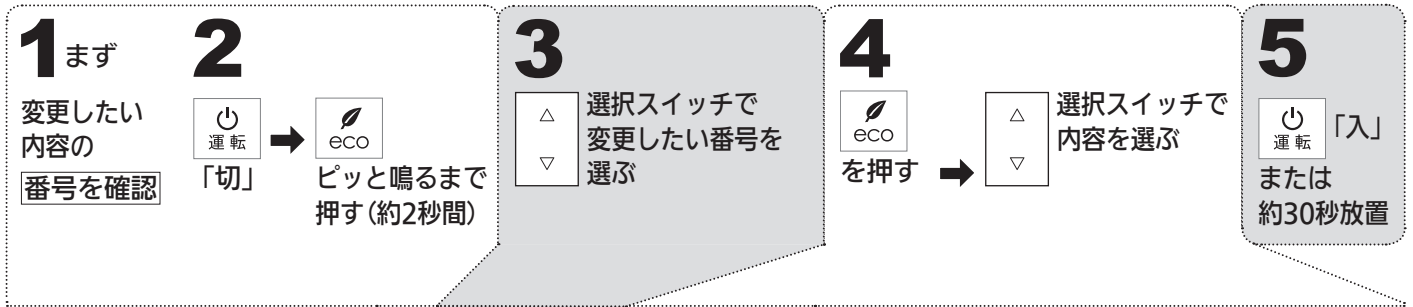
- ecoランプ消灯。



お知らせ

- 一度ecoスイッチを「入」にすれば、運転スイッチを「切」にしてもecoスイッチは「切」にはなりません。停電したり電源プラグを抜いたりすると、ecoスイッチは「切」になります。(ひかえめ給湯量は記憶しています)
- お湯の使用中に、ecoスイッチを「切」にしないでください。(高温のお湯が出る場合があります)
- 給湯栓のレバーを完全にお湯側にして使用するのが、エコな給湯のコツです。(水側にレバーを傾けると、水が混ざって設定した量より多く出ます)やけどしない温度に設定してください。サーモスタット式混合水栓の場合は、最高温度側にして水が混ざらないようにしてください。

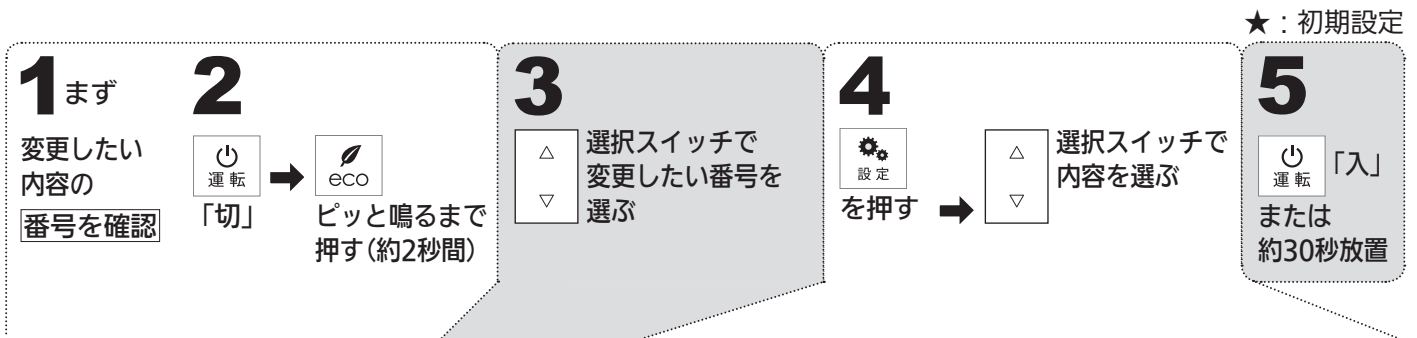
「eco」の内容をお好みで変更する <お好みeco設定>

★：初期設定



「ひかえめ給湯温度」をやめたい	1	1		on：「ひかえめ給湯温度」をする★ of：「ひかえめ給湯温度」をしない
「もっと表示節電」をやめたい	17	17		on：「もっと表示節電」をする★ of：「もっと表示節電」をしない

使い勝手にあわせて設定を変更する



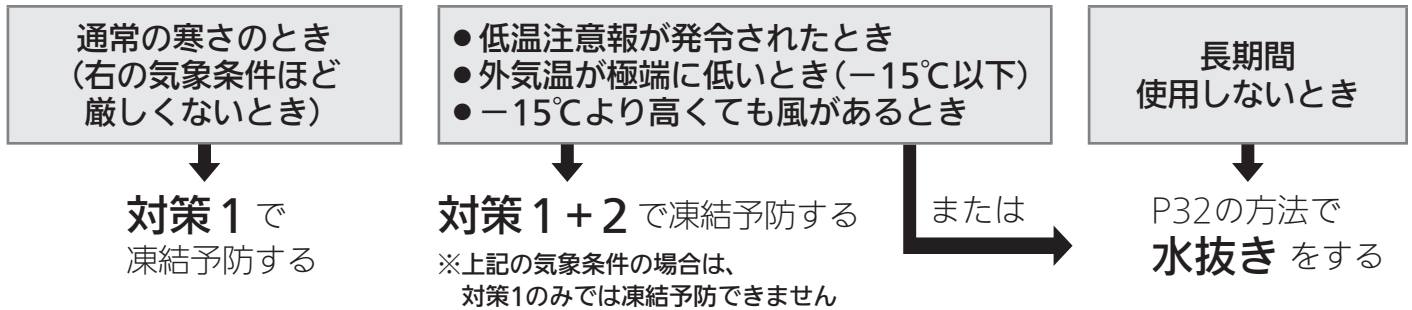
声によるお知らせ(音声ガイド)を消したい	1	1		on：あり★ of：なし
表示の節電をやめたい 時計表示のしかたを変更したい	2	2		1：表示の節電をする★ 2：表示の節電をしない(時計表示する※) 3：表示の節電をしない(時計表示する) ※運転スイッチ「入」時に時計表示している場合は、運転スイッチ「切」にすると時計表示は消えます。
給湯・シャワーの温度を制限したい	11	11		上限の温度(℃)： 32、35、37～48(1℃きざみ)、50、55、60、75★
ユーザー設定を初期設定に戻したい	19	19	 のあと、 △を長押し (ピッと鳴るまで) 約5秒間	表示がonになり、初期設定に戻る ※リモコンの音量も初期設定に戻ります。

「eco」の内容をお好みで変更するへお好みeco設定

使い勝手にあわせて設定を変更する

凍結による破損を予防する

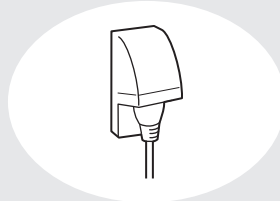
お願い	凍結による破損を予防する	<ul style="list-style-type: none"> ● 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な対策をしてください。 ● 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。
------------	--------------	---



対策1 凍結予防ヒーターにより自動的に凍結予防 (運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します)

電源プラグを抜かない

電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします



- 凍結予防運転中は、ファンがはたらいで機器内の冷たい空気を外に出します。
- 給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

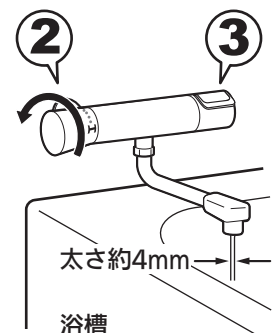
対策2 通水による凍結予防

1 運転スイッチを「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする

3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする
少量の水とは・・・1分間に約400mL、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する
流量が不安定になっている場合があります



- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でお風呂から水を出さないようお願いしていますが(P9)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P32の方法で水抜きをおこなってください。

凍結してお湯(水)が出ないとき

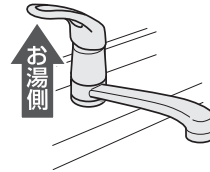
● 運転スイッチを「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

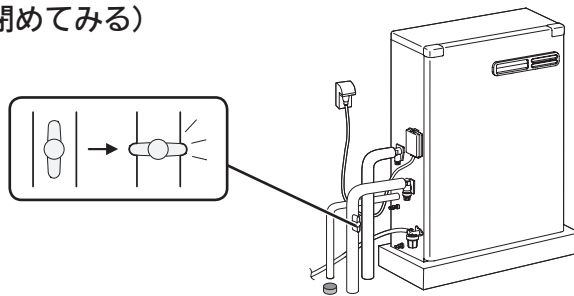
● すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 運転スイッチを「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく



3 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



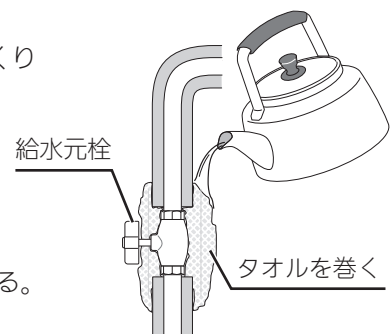
給水元栓が凍結して回らない場合

- ① タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- ② 人肌程度(30℃~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(必要に応じて床面などがぬれないように処置をする)

注意

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。

- ③ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- ④ タオルを外し、給水元栓のまわりについて水を乾いた布でふき取る。
- ⑤ 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



凍結による破損を予防する

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社にご連絡ください。

お知らせ

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。
機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないとき(水抜きのみ)

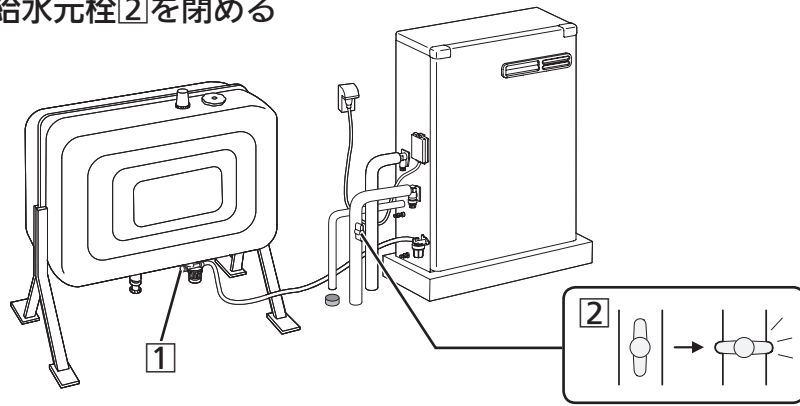
注意 機器の水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

準備

水抜き栓などからお湯(水)が約2L出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

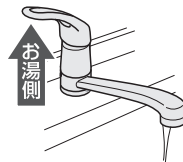
手順

1 送油バルブ①と給水元栓②を閉める

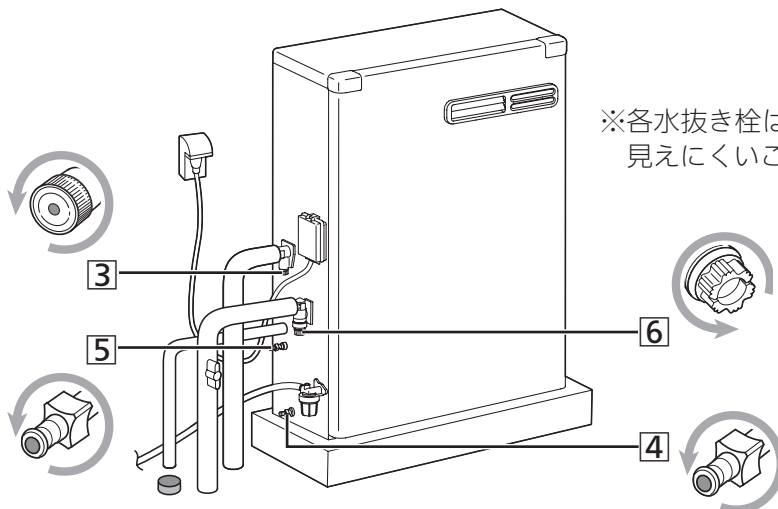


2 運転スイッチを「切」にする

3 家中のすべての給湯栓を全開にする



4 ①過圧防止安全装置(水抜き栓)③・水抜き栓④⑤を、左に回してゆるめる
②水抜き栓(フィルター付き)⑥を左に回して外す



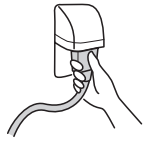
※各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。

》**しくみ**
●水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。

》**注意**
●取り外した水抜き栓は、再使用時までなくさないように保管してください。

5 家中のすべての給湯栓を閉める

6 機器の電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない



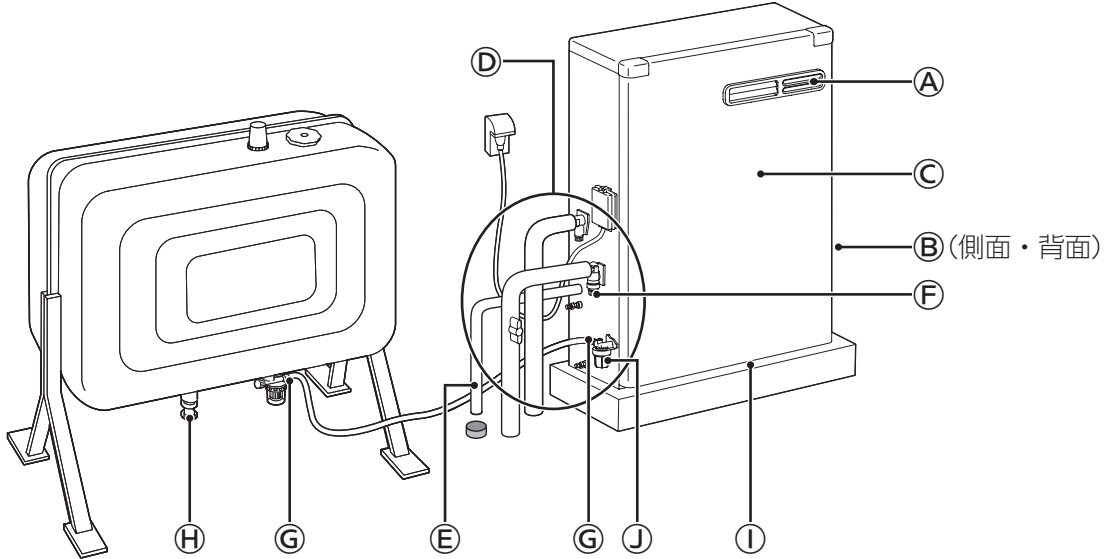
水抜き後の再使用のとき

すべての水抜き栓を閉め、P12の「運転開始前の準備と確認」に従って操作してから、使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠️注意 **!** 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



★の処置：販売店または、弊社に連絡する。

点検
排気口・給気口がホコリなどでふさがっていないか？ → **A** **B**
ふさがっている場合は、掃除する。

点検
機器外装に異常な変色はないか？ → **C**
現象があった場合：★

点検
●機器から異常音が聞こえないか？ → **C**
●機器・配管から水漏れはないか？ → **D**
現象があった場合：
「故障・異常かな？と思ったら」のP41を確認する。
それでもなおおかしいときは、販売店または、弊社に連絡する。

点検
●ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがいないか？ → **E**
●ドレン配管の先が水につかっているか？ → **E**
ゴミなどは取り除く。
ドレン配管の先が水につかっている場合：★

点検
オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか？ → **G**
【油漏れがあった場合】
運転スイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社に連絡する。

点検
オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れがないか？ → **H**
【油漏れがあった場合】
①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受け取る容器を置く。
②ドレン抜きバルブを開け、約10～20mL排水する。
③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じっていないければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)
※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または、弊社にご連絡ください。

点検
機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ → **I**
現象があった場合：★
※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

お手入れ 外装の汚れ →㉔

ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽く
ふいてください。

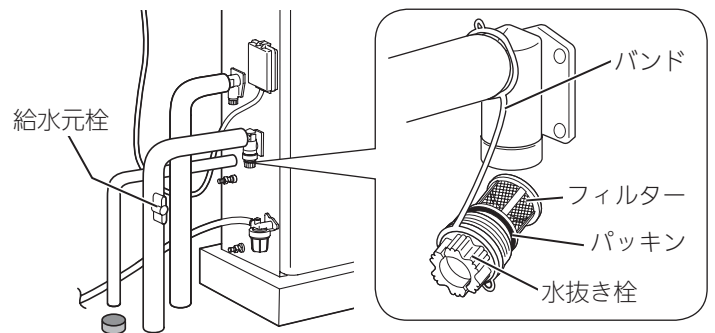
点検

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
燃えやすいものを置かない。

お手入れ 水抜き栓のフィルター →㉕

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓を閉める。
- ③台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を開ける。
- ④水抜き栓を左に回して外す。※1 ※2
- ⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。
- ⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。※3
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。
- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。

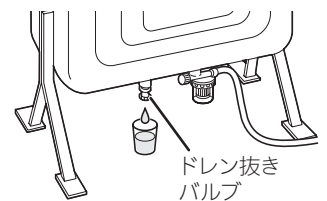
※2 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。

※3 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターのパッキンをなくさないように注意してください。

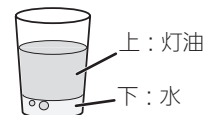
お手入れ オイルタンク →㉖

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。
- ②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。
- ③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。
※分離していなければ、水は混ざっていません。
- ④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。
出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。



<分離している状態>



(つづく)

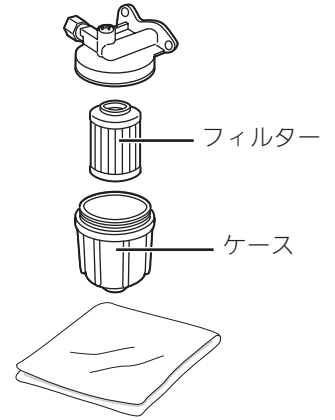
日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

(つづき)

お手入れ オイルストレーナー →④

オイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。
※方法がわからない場合は、販売店にご相談ください。

- ①オイルタンクの送油バルブを閉じる。
- ②オイルストレーナーの下に、送油経路内の灯油を受ける布などを用意する。
- ③ケースを左に回して外す。
- ④フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
(汚れのひどいときはフィルターの交換(有料)が必要です。販売店へご連絡ください)
- ⑤元どおり取り付け。
- ⑥オイルタンクの送油バルブを開ける。
- ⑦油漏れのないことを確認する。



定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
点検は販売店または、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

不良灯油(変質灯油・不純灯油)・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ(制御弁SET)、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	分配弁、水量サーボ

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間[※]を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

法定点検について(つづき)

(つづき)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期……製造年月
- 2) 終期……JIS S 2071の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、弊社にご連絡ください。

● 点検について

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者がおこないます。

【**点検お知らせ機能**搭載について】

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(P43)

【**点検の内容について**】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

【**点検の料金について**】

点検料金は、お客様にご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるように全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.chofukosan.com/>

インターネットでご確認できない場合は、弊社にご連絡ください。

【**本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間**】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フォトICダイオード
- (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・オイルセンサー

※補修用性能部品の保有期間はP44をご覧ください。

【**本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ**】

P34～36に従って、おこなってください。

【**任意の定期点検について**】

P36をご覧ください。

本製品の点検等に関するお問合せ先

長府工産株式会社 お客様窓口

Tel : 0120-495-441

故障・異常かな？と思ったら

お湯・シャワー		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	P35
	凍結している。	P31
	運転スイッチが「切」になっている。	運転スイッチを「入」に。
	送油経路に空気が残っている。	空気抜きをする。(P11)
	夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P21
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	給湯栓をもっと開いて使用する。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。
	太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。	異常ではありません。
高温のお湯が出ない	オイルタンクの送油バルブが全開になっていない。	送油バルブを全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P21
	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。	給湯栓を少し閉じて、お湯の量を少なくする。
給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。
給湯温度の設定がある温度以上、上げられない	ユーザー設定の番号11で、給湯・シャワーの温度を制限している。	P29
お湯が白くにごって見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。	異常ではありません。他の場所での使用をやめると、元に戻ります。
	水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。
	お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。	異常ではありません。
給湯栓から出るお湯の量が少ない	eCOスイッチを「入」にすると、給湯量が少なくなります。(ひかえめ給湯量)	お好みの量に変更する。(P27)

法定点検について

故障・異常かな？と思ったら

故障・異常かな？と思ったら(つづき)

お風呂		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	お湯はり温度(給湯温度)の設定が合っていない。	P21
設定したお湯はり湯量より多くお湯はりされてしまう	残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。	異常ではありません。
設定したお湯はり湯量より少なくお湯はりされてしまう	お湯はり中に他の場所でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。	異常ではありません。
設定量までお湯はりしてもお湯はりメロディが鳴らない 鳴るタイミングがずれている	お湯はり湯量を「990L」に設定している場合は、お湯はりメロディは鳴りません。	異常ではありません。
	設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりメロディが鳴ります。	異常ではありません。
	お湯はり中に、運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりメロディは鳴りません。	異常ではありません。
	サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水のみが多いたとこでお湯はりメロディが鳴ります。	異常ではありません。
	音量を「0」に設定している。	P25

リモコンの表示や画面など		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点灯しない	停電している。	復旧を待つ。
	電源プラグが抜けている。	電源プラグの確認を。
時計表示が「- : -」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「- : -」になる場合があります。	時計をあわせ直す。(P18)
表示の節電の状態にならない	ユーザー設定の番号2が「2」か「3」になっている。	P29
	給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電はしません。	異常ではありません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分たつと画面表示が消えます。 ※ecoスイッチ「入」中は、約1分で節電します。	お湯を使ったり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
リモコンのスイッチを押しても、そのスイッチの動作しないときがある	画面が暗くなっているとき(表示の節電中)にスイッチを押すと、音量スイッチなど、スイッチによっては表示の節電の解除のみするものがあります。	異常ではありません。
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
炎マークが点灯したり、消灯したりする	しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。	異常ではありません。

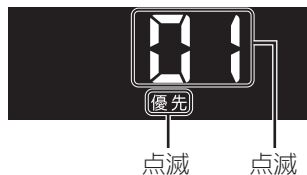
機器全般

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
排気口から湯気(白い煙のよ うなもの)が出る	この機器で排出される燃焼ガスは温度が低く、水分を多く 含んでいるため、外気に触れると結露し、白い湯気に見え ます。	異常ではありません。
機器から水漏れしている	【ドレン配管から水が出ている場合】 機器内に発生した凝縮水をドレン配管から排出します。(最 大60mL/分程度) 【水抜き栓から水が出ている場合】 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはた らき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちるこ とがあります。	異常ではありません。
運転中に停止した	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていな い。 断水している。 給湯栓が充分開いていない。 灯油がなくなっている。	送油バルブ・給水元栓を全開に。 復旧を待つ。 給湯栓を充分に開ける。 灯油を補充し、運転スイッチを 「切」「入」する。
使用していないのに音がする	凍結予防のためにファンが作動する音です。 【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】 【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器 の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯 の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。 異常ではありません。
運転中にときどき 「カチッ」という音がする	しくみ上、音が出ます。	異常ではありません。
給湯栓を閉めたときに 「パキパキ」という音がする	熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、 音がします。	異常ではありません。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけん などに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く 着色することがあります。	こまめに掃除をして湯あかや せっけん成分を洗い流すことで、 これを予防できます。
ドレン配管から出る水に 色がついている (白っぽい・茶色っぽい)	熱の再利用時に発生する凝縮水を、中和剤(炭酸カルシウム)で 中和してから、ドレン配管より排水します。この中和により色 味がかかる場合がありますが人体・環境に影響はありません。	異常ではありません。

リモコンに数字が点滅しているとき <故障表示>

●不具合が生じたとき、故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。

表示例



お客さまで対処できるもの

故障表示	原因	処置
01	連続60分以上給湯した	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
10	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 (地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください)
11 12	●燃焼制御装置の非検知 ●灯油切れの可能性がります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
16	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎた	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ③給湯栓をもっと開いて使用する。
29	ドレン配管の異物詰まりや凍結により、機器内に発生した凝縮水が排水できなくなっている	①ドレン配管の先にゴミなどが詰まっていないか確認し、ゴミなどが詰まっていれば取り除く。(P34) ②冬場寒いときは、ドレン配管が凍結している可能性があるため、気温が上昇して自然解凍するのを待つ。 ③その後運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。 ※上記に該当しない場合や上記の処置をしてもなお故障表示をくりかえすときは、機器内の中和装置に詰まりが発生しているなどの原因が考えられます。また、冬場寒いときに故障表示が何度も出るような場合は、ドレン配管の凍結予防処置(有料)が必要な場合があります。販売店または、弊社にご相談ください。
LL	【別売品の給油検知装置を設置している場合】 オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。 残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。(P43)

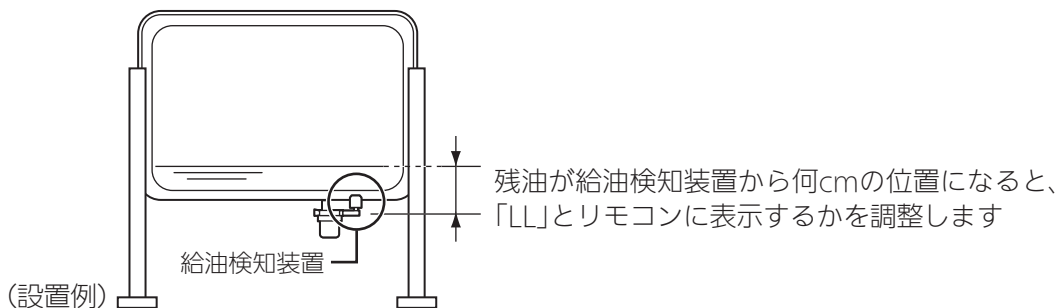
以下の場合、販売店または弊社にご連絡ください

故障表示	原因
66	水量を調節する装置に異常が生じた (しばらく使用はできませんが、必ず販売店または、弊社にご連絡ください) ※ただし、お湯の出始めやお湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出たり、高温のお湯が出る場合は、すぐに使用をやめ、販売店または、弊社にご連絡ください。
80	油漏れの可能性があるため (オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社にご連絡ください)
88	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいてお知らせ 【故障ではありません】 使用はできませんが、安全のため点検(有料)を依頼してください。 販売店または、弊社にご連絡ください。
92	中和器の寿命のため交換が必要 (しばらくすると使用できなくなりますので、すぐに販売店または、弊社にご連絡ください)

- ・ P42～43以外の表示が出る時
- ・ P42の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・ その他、わからないとき

給油検知装置FC-1(別売品)の調整方法

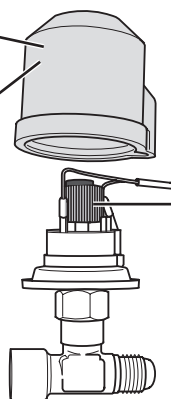
オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になるとリモコンに「LL」表示が出て給油時期をお知らせしますが、残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、以下の手順で給油検知装置の調整をしてください。



①ゴムカバーを外す

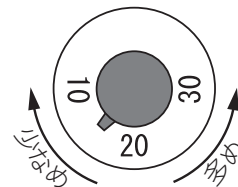
③調整後、ゴムカバーを元通り取り付け

※給油検知装置は防水型ではありません。
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などが入って給油検知装置が故障する原因になります。



②調整つまみで調整する

<調整つまみを上から見た図>



初期設定=10

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回す。(残油量が少なめで表示が出ます)
【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回す。(残油量が多めで表示が出ます)

※送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法→P11)
※給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

P39～43の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容

- 製品名……………CBX-EF474F
- 設置日……………保証書をご覧ください
- 異常の状況……故障表示など、できるだけくわしく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

技術料：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 部品代：修理に使用した部品代金です。
 出張料：製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
 (工事店にご相談ください)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。

必ず販売店・設置日などが記入されていることを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

製 品 名	CBX-EF474F	
型 式 の 呼 び	CBX-EF474F (OQB-C4704Y)	
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋外用開放形
	給 水 方 式	水道直結式
	加 熱 形 態	瞬間形
点 火 方 式	高压放電式	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	49.0kW(4.8L/h)	
連 続 給 湯 効 率	95.0%	
連 続 給 湯 出 力	46.5kW	
熱 交 換 器 容 量	1.26L(一次側：0.8L 二次側：0.46L)	
使 用 圧 力	1MPa以下	
伝 熱 面 積	一次側：1.240m ² 二次側：0.268m ²	
外 形 寸 法	高さ770mm 幅540mm 奥行250mm	
質 量	37kg	
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時：90W/88W 燃焼時：84W/80W
	凍結予防ヒーター	156W
待機時消費電力	1.4W	
排 気 温 度	100℃以下	
騒 音 レ ベ ル	47dB(Aレンジ)	
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	缶体温度ヒューズ：221℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置、停電時安全装置、燃焼制御装置、電動機の過負荷保護装置	
そ の 他 の 装 置	漏電安全装置、空だき安全装置、凍結予防ヒーター、排気温度検知装置、油漏れ検知装置、中和器詰まり検知装置、温度ヒューズ、過圧防止安全装置	
付 属 品	転倒防止板、台所リモコン及び取付部材	

リモコン音声一覧

●スイッチ操作をおこなったときの音声、スイッチ操作をしなくても出る音声について、一例を記載しています。

機器の動き	操作と条件		音声(抜粋)
運転「入」	運転スイッチ「入」	そのとき給湯温度が55℃以下だったら	(運転入音)
		そのとき給湯温度が60℃だったら	(運転入音)熱いお湯が出ます
時計あわせ	時計あわせスイッチを押す	押したとき	時刻が変更できません
		時計あわせ完了	設定しました
お湯の温度変更	選択スイッチで変更	給湯温度55℃以下に変更	給湯温度を〇度に変更しました
		給湯温度60℃・75℃に変更	熱いお湯が出ます 給湯温度を60度(75度)に変更しました
お湯はり	給湯栓を開け、設定量お湯はりすると		(メロディ)給湯栓を閉めてください
お湯はり湯量変更	湯量設定スイッチで変更	押したとき	おふろの湯量を変更できません
		変更すると	おふろの湯量を変更しました
音量変更	音量スイッチを押すと		音量が変更できます
	音量スイッチで変更		音量が変更されました
eco	ecoスイッチ「入」		設定しました
	ecoスイッチ「切」		解除しました

設定範囲と初期設定

項目	初期設定	設定範囲
給湯温度(お湯はり温度)〈℃〉	40	32、35、37~48、50、55、60、75
お湯はり湯量〈L〉	180	40~260(20Lきざみ)、300、350、400、990(お湯はりメロディのお知らせなし)
リモコンの音量	2	0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)
時計表示	(未設定時) — : —	

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。設置日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社に修理をご依頼ください。

お客様	ご芳名	様		
	ご住所			
販売店	店名	扱 者 印	製品名	CBX-EF474F
	住所		保証期間	設置日より
	電話番号			① 熱交換器は5年 ② ①を除く電装品・バーナーは2年
設置日	平成 年 月 日			
保証対象部分	機器本体(リモコン含む)			

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に設置年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

■お客様へ

- この保証書をお受け取りになる時に設置日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

長府工産株式会社

本 社	山口県下関市長府東侍町1番5号	〒752-0977	TEL(083)245-5441(代)
大阪支社	大阪府茨木市春日3丁目14-17	〒567-0031	TEL(072)625-5338(代)
東北支店	宮城県仙台市青葉区愛子東6-7-47	〒989-3127	TEL(022)391-1215(代)
横浜支店	神奈川県横浜市緑区十日市場町872-19 エテルナII-2F	〒226-0025	TEL(045)989-5885(代)